

たかいど ものがたり



3月
2021年272号



■今月の展示コーナー

旅する文学（エントランス展示）…………… P.2

YA だより…………… P.3

■ミニギャラリー（2階ホールわき）…………… P.4

■新聞書評に載った本、新刊案内…………… P.5

■図書館からのお知らせ…………… P.6 P.7

■高井戸図書館カレンダー…………… P.8

旅する文学

エントランス展示



思うままに遠出できない日々が続いているが、今月は旅する人が著した紀行や、旅する人を描いた小説など、文学とその周辺の本を集めました。旅の目的や事情は様々。本を開き、想像の翼を広げて、著者や主人公と共にそれぞれの旅に出かけてみませんか？



『明日は、いずこの空の下』

上橋 菜穂子／著 講談社

作家、文化人類学者でもある著者が、高校のスコットランド研修旅行、オーストラリアでのフィールドワーク、母とのツアーフィルムなど、様々な旅で体験してきたことを振り返る味わいあるエッセイ。旅の記憶が著者の中で熟成し、物語を紡ぐ糧となっていることがよくわかります。



『極夜行』

角幡 唯介／著 文藝春秋

極夜の世界に行けば、眞の闇を経験し、本物の太陽を見られるのではないか。現在のシステム内部では失われてしまった人間と自然との原初的な関係を求め、一頭の犬と共に厳冬の北極圏単独行を試みた探検家によるノンフィクション。死と瞬り合わせの旅の中で、著者は何を思うのか？最後まで引き込まれます。



『井上井月伝説』-人間ドキュメント-

江宮 隆之／著 河出書房新社

後に芥川龍之介の心を掴み、種田山頭火や、つげ義春らを惹きつけた俳人、井上井月（文政5年～明治20年）。越後に生まれるが、芭蕉に憧れて各地を漂泊し、信州伊那谷に流れ着いた後も一帯を放浪。ぼろをまとい、酒を飲み、句を詠んだ末に客死した井月の生涯を描く評伝小説です。

エントランス展示

YA だより

10代へ向け
毎月オススメ本や新着本を
紹介しています。
是非借りてみてください。



オススメ



『もがいて、もがいて、古生物学者！！』

-みんなが恐竜博士になれるわけじゃないから-

木村 由莉／著 ブックマン社

子どもの頃の夢をあきらめてしまう人は多いと思います。でも、情熱が続く限り、形は変わっても夢は続いていきます。筆者は「とにかく恐竜が好き」という気持ち一筋で大学受験の壁を乗り越え、研究の道に入りますが、自分の立ち位置を知ってもらがれます。軌道修正しながらも夢を追って突き進んでいく姿に勇気づけられます。

New



『嵐に溺れる』

青羽 悠／著 PHP研究所

いつも遠くを見ているような孤高の天才、十太。彼の作る音楽に心動かされた男女六人の人生が交差する・・・初々しい出会いと別れ、夢と挫折。一つの曲が織り成す、心がヒリヒリする青春小説。YAではなく一般書架の本ですが、高校生にオススメしたい一冊です。





手づくり作品 展示会

「すぎなみのたね」は、楽しい集いの場をたくさん用意しています。コミュニティカフェ、歌声サロン、麻雀カフェ、手芸カフェ、男性料理教室など、目的は皆さまと楽しい時間を過ごすことです。参加してくださる方、大歓迎です！

出展 NPO法人 すぎなみのたね
期間 3月2日（火）～4月4日（日）



高井戸図書館ミニギャラリーは地域住民の趣味、特技、生涯学習で学んだ事柄の発表の場です。人の輪を広げ、図書館が交流スペースになることを目的としています。随時募集をしているので、お気軽にスタッフまでお声がけください。

新聞書評に載った本

貸出中の場合は、予約をすることが出来ます。
カウンターへお気軽にお申し付けください。



『図書室で暮らしたい』

辻村 深月／著 講談社

小説家のエッセイは面白い。小説とのギャップがあったり、人柄が垣間見えたりする。本書は、辻村さんの日常や育児に奮闘する姿、好きな本や音楽にも触れていて、直木賞受賞の際の心境も綴られています。エッセイを読んでから小説を読んでみると、また違った味わいになるかもしれません。

新刊案内



ほぼ毎週、火曜日と金曜日に新刊が入ってきます。

こちらも貸出中の場合は、ご予約ください。

New



『だれも知らないレオ・レオーニ』

森泉 文美／著 松岡 希代子／著 玄光社

「スイミー」などの作者で、その分野では誰もが知る絵本作家レオ・レオーニ。マルチな才能の持ち主で、絵本だけでなく、グラフィックデザイン、絵画、彫刻…とその創作活動は多岐に渡っていました。本書は、レオ・レオーニの生涯を辿りながら、作品や残した言葉を紹介し、彼の全体像に迫っています。

図書館からのお知らせ



- イベントのお申し込みは、お電話かカウンターで受付けています。
- 明記していない場合、会場は2階のホール。開場は開始時間の30分前です。
- 詳しくは、館内ポスター・図書館ホームページで確認できます。
- 「三密」を避けるため、室内の換気、参加人数、
人との間隔に配慮して実施します。
- 感染予防のため、手洗い、マスクの着用、検温のご協力を願いします。

『 消しゴムはんこで作る春のブックカバー 』

日 時	3月8日（月）	
時 間	午後2時～3時	
対 象	一般	
申込み	2月22日（月）から	定 員 6名

-親子おりがみ教室- 『 タカどんを折ろう 』

日 時	3月14日（日）	
時 間	午後2時～2時45分	
対 象	5歳からのお子様と保護者	
申込み	3月2日（火）から	定 員 8組

講師紹介 藤本祐子 杉並区在住。日本折紙協会講師。長年にわたり月刊誌「おりがみ」や保育雑誌、単行本などの折り図制作や企画編集に携わる。また、カルチャーセンターや地域の高齢者団体、児童館や小学校などで折紙講師として指導にあたり、幅広く折紙の楽しさを伝えている。日本折紙協会会員。日本折紙学会会員。ORIGAMI USA会員。

第九回『 高井戸寄席 』

日 時	3月23日（火）	
時 間	午後2時～4時	木戸銭 無料
出 演	社会人漚家集団「文七迷人会」	
申込み	3月9日（火）から	定 員 14名

おはなし会 時間変更のお知らせ

4月からおはなし会の時間が変更となります。

3月まで：午後3時30分から午後4時まで

4月から：午後3時から午後3時30分まで

ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。



たかいど ものがたり

2021年3月 第272号

発行 杉並区立高井戸図書館

〒168-0072 杉並区高井戸東1-28-1

電話番号 03-3290-3456

ホームページ パソコン版

<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

携帯版

<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/m>

高井戸図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2	3	4	5	6
7 春の ブックカバー	8	9	10	11	12	13
14 タカどんを 折ろう	15	16	17	18 休館日	19	20
21 高井戸寄席	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 開館時間

月曜～土曜 午前9時～午後8時

日曜・祝日 午前9時～午後5時

■ 休館日

第1月曜と第3木曜

※祝日と重なった時は翌日が休館



あかちゃんおはなし会

午前11時～午前11時30分



おはなし会

午後3時30分から午後4時

■ 2階ホールの使用状況

閉室

【臨時閲覧席】(どなたでもご利用できます)

午前9時～午後5時

午前9時～午後8時

午前9時～午後12時

午後1時～午後8時

【Y A 広場】(中高生専用の部屋です)

閉室